

2019 第20回全国オープン清心空手道選手権大会 実施要綱

主催 清心流空手道協会総本部

後援 全日本硬式空手道連盟、(株)下野新聞社、(株)とちぎテレビ、(株)エフエム栃木、(株)栃木放送

- 1 日時 令和元年12月8日(日) 午前9:30開場・受付開始 10:00開会式
- 2 会場 栃木県総合運動公園 武道館(宇都宮市西川田4-1-1 電話028-659-1201)
※昨年とは異なりますのでご注意ください。現在工事中のため、「新武道館」で検索してください。
- 3 参加費(保険料、パンフ及び記念品代を含む。)

高校生以上6,000円(組手・型のダブルエントリーは8,000円)

中学生以下5,000円(組手・型のダブルエントリーは7,000円)

※大会参加費の一部を福祉事業支援等のための義援金として寄付します。

※試合中に発生した傷害については、応急手当のほか、その後の治療については大会保険を適用しますが、その他については主催者は一切責任を負いません。

※会場は一部床となります(マット、畳等なし)ので、御承知置きください。

※昼食は出ませんので各自御用意ください。

※参加申込団体には後日指定駐車場の案内を送付します。現在公園全体の整備工事中のため、駐車場が限定される予定です。極力公共交通機関を利用又は相乗りをお願いします。

- 4 表彰 各部門1位から3位※、最優秀選手賞、会長特別賞、敢闘賞、勇気賞他(予定)
(※2名→優勝者のみ、3・4名→優勝・準優勝、5~7名→優勝・準優勝・3位(1名)、8名以上→3位2名)
- 5 申込方法 申込書と参加費を現金書留に同封の上、下記宛て郵送するか、申込書をファックス又はメールの上、下記の口座にお振込みください。
- 6 申込締切 令和元年10月25日(金)(厳守) ※申込締切日以降は参加費をお返しできません。
- 7 大会種目(※昨年同様、組手と型のダブルエントリーは可とします。試合順:型→組手)

(1) 組手部門(防具付)

- ①幼児の部(申込人数により年小・中・長別、男女別とします。)
- ②小学生の部(申込人数により学年別・男女別とします。)
- ③中学生の部(男女別)(申込人数により学年別とします。)
- ④高校生の部(男女別)(申込人数により学年別とします。)
- ⑤マスターズの部(40歳以上) 軽量級の部(70kg以下)、重量級の部(70kg超)
- ⑥一般女子の部(申込人数により有級・有段・体重別とします。)
- ⑦一般男子有級の部 軽量級の部(70kg以下)、重量級の部(70kg超)
- ⑧一般男子有段の部 軽量級の部(70kg以下)、重量級の部(70kg超)

(2) 型部門

- ①幼児の部
- ②小学生の部(申込人数により学年別とします。)
- ③中学生の部(申込人数により学年別とします。)
- ④高校・一般有級の部(申込人数により男女別とします。)
- ⑤高校・一般有段の部(申込人数により男女別とします。)

※各部門とも、参加申込み者数によりクラスの分割統廃合を行う場合があります。

8 申込み・問い合わせ

〒320-0017 栃木県宇都宮市戸祭台17-3

第20回全国オープン清心空手道選手権大会 実行委員長 伊藤満

TEL/FAX 028-643-2351 携帯電話090-6486-5896

E-mail: kaiseikanjp@yahoo.co.jp

参加費振込先 足利銀行 本店 普通預金 口座番号4107410

会場案内図



【栃木県総合運動公園】への行き方

- 東武宇都宮線／西川田駅から徒歩 15 分
- JR 宇都宮線／雀宮駅から徒歩 30 分、またはタクシーなど車で 10 分
- 東北自動車道／鹿沼 IC より車で 15 分(さつきロード【有料道路】経由)
- 北関東自動車道／壬生 IC より車で 20 分
- 北関東自動車道／宇都宮上三川 IC から車で 15 分
- 関東バス／JR 宇都宮駅西口 11 番乗場から「江曾島(西川田東)」行乗車(約 30 分)、終点「西川田東」下車、停留所から徒歩 5 分
- JR 宇都宮駅(約 17～24 分)・JR 雀宮駅(約 7～10 分)からは、関東バス今宮線が便利です。最寄りの停留所は「総合運動公園南門」です。路線バスに関するお問い合わせは、[関東自動車株式会社](https://www.kantobus.co.jp/) (https://www.kantobus.co.jp/) までお願いいたします。

第20回全国オープン清心空手道選手権大会競技規程

I 組手の部（防具付）

1 時間 中学生の部まで及びマスターズ：1分30秒、高校生以上：2分間

2 勝敗

- (1) 中段の突き・蹴り及び上段の突きは1ポイント、上段の蹴りは2ポイントとする。相手が転倒した際の仮当ては、完全制圧の場合は2ポイント、それに準じるものは1ポイントとする。
- (2) 加点方式とし、相打ち、止めが掛かる前の返し技、連続技は全てポイントとする。
- (3) 「ポイント差が5ポイント以上」で勝ちとする。
- (4) 反則箇所を除く部分へ突き又は蹴りを瞬時に決め、相手を倒したとき、又は相手の戦意喪失により試合続行不可能をなつた場合、有効技を3本続けて決めた場合は一本勝ちとする。
- (5) 正拳による突き、蹴りを有効技とし、手刀、裏拳、拳槌、掌底（高校以上除く）は有効技としない。
- (6) 5ポイント差がつかず時間が終了した場合はポイントの多い選手の勝ちとする。同点の場合は1分間の延長戦を行う。
- (7) 延長戦で双方に得点がなかった場合、主審及び副審の最終的な旗判定により勝者を決する。（決勝戦のみ再延長まで行う。）

3 反則、禁止事項

- (1) 後頭部、首、側面耳、防具以外への攻撃、股間部、下肢への蹴り技、投げ技（掴まずに崩すことは可）、掴み、組み付き、体当たり、肘・膝・バックハンドによる攻撃
- (2) 場外（相手に押されたり投げられた場合は除く。）の繰り返し、時間を空費させるための行為
- (3) 罵倒、挑発的言動、相手の人格を無視する言動、態度、審判の指示に従わない、その他空手修行者として相応しくない言動・態度

※セコンドによる武道精神に反する過度な応援、中傷言動があった場合は選手を失格とする。

- (4) 場外は1度目から場外注意とし、相手に1ポイントが与えられる。他の軽微な反則は最初「警告」とし、その後反則をした場合「反則注意」の宣言を受け、相手に1ポイントを与える。「反則注意」後、さらに注意されるようなことを犯すと反則負けとなる。延長戦には本戦の反則を引き継ぐ。

4 使用防具（※参加者が用意。止むを得ない事情がある場合には貸し出しも行う。）

スーパーセーフ等の顔面・頭部の安全防具（目の部分が開いていないもの）、胴プロテクター、白の拳サポーター（布製）、金的カバー（男子）を必須とし、脛あてサポーター、マウスピースの着用も可。

II 型の部

1 形式

フラッグ制（旗上げ方式、主審含め3名又は5名）のトーナメント形式とする。

競技は、2人（赤、白）の競技者が2人同時に行うものとする。

2 型の種類

自由型（2分以内）とする（決勝戦は2分30秒以内）※予選から決勝まで同じ型でも可。

3 判定基準

- (1) 立ち方、技、流れるような動き、タイミング、正確な呼吸法、極め、一致性
 - (2) 力強さ、スピード、バランス
- ※コート境界線を越えても減点としない。

III 共通事項

- (1) 選手は全て空手着着用とする。（色は自由）
- (2) 大会における事故、怪我は参加者自身の責任とし、対戦相手又は主催者、関係者等に一切の損害賠償、補償等の請求は参加申し込みの時点で放棄するものとする。
- (3) 会場での各自のゴミ、空き缶はそれぞれの責任で持ち帰ること。
- (4) カメラ、ビデオの撮影は自由とするが、大会進行の妨げにならないよう主催者が指定した場所で行うこと。
- (5) 選手、団体引率者、観戦者共に会場内では節度ある行動、応援に心がけること。審判への暴言、ヤジ、選手を中傷する言動等、芳しくない判断した場合には主催者側で退場を命ずることもある。